

幻想ふたたび。知性が野生を解き放つ

春の祭典

幻想フィルハーモニー管弦楽団
第二回演奏会

2018.3.21 (水・祝)
春分の日

14:00開演 (13:15開場)

兵庫県立芸術文化センター
KOBELCO大ホール
阪急神戸線西宮北口駅より南へ徒歩2分

Technics 協賛



I.Stravinsky



M.Ravel



C.M.Weber



Naohiro.Totsuka

指揮：十束 尚宏

十束 尚宏：新作 (世界初演)

Naohiro Totsuka : New composition (World premiere)

ウェーバー：舞踏への勧誘

Carl Maria Friedrich Ernst von Weber : Invitation a la danse

ラヴェル：ラ・ヴァルス

Joseph-Maurice Ravel : La Valse

ストラヴィンスキー：春の祭典

Igor Stravinsky : Le sacre du printemps (The rite of spring)

入場料：1,500円 (税込／前売・当日同額) 【全席自由席】 就学前のお子様は入場いただけません

チケット発売：10月25日 (水) 10:00 ■取扱い窓口：芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00～17:00 月曜休み※祝日の場合翌日)

詳細はホームページからご覧になれます：<http://www.fanta-spring2018.com/> または「幻想フィル」で検索ください。

主催：幻想フィルハーモニー管弦楽団 メール：fanta18321@gmail.com お問い合わせ (河野)：090-3387-1725

彫刻：ロダン作「ダナイド」(レプリカを撮影)

題字：柏原 朱香

知性が野生を解き放つ、幻想フィルの「春の祭典」

2年前の2015年、一期一会の「幻想交響曲」を演奏するために集まった私たち幻想フィルハーモニー管弦楽団は、2018年3月、ストラヴィンスキーの「春の祭典」にチャレンジします。この巨大でスクランダラスな曲を演奏するため、十束尚宏先生の指揮のもと、若く刺激的なメンバーが加わり、新しい幻想フィルが誕生しました。2018年3月21日(水)「春分の日」、私たち幻想フィルの演奏にどうかご期待ください。



十束尚宏(指揮・作曲)

5歳よりピアノを高柳朗子氏に師事。桐朋学園指揮科に学ぶ。故森正、高階正光、小澤征爾、秋山和慶、黒岩英臣、尾高忠明各氏に師事。1982年民音指揮者コンクール第1位。83、84年タンゲルウッド音楽祭フェローシップ、クーセヴィツキー指揮大賞受賞。84年ボストン響で小澤氏のアシスタント。84～85年ベルリン留学。群馬響正指揮者、東京シティ・フィル常任、広島響音楽監督を歴任。97年「ノルマンディーの10月」音楽祭に広響と出演。2002年よりローム財団奨学金を得、その後もウィーン国立歌劇場で研鑽。コーミッシュ・オペラ・ベルリンやブリュッセル・モネ劇場等ドイツ、フランス、ベルギー、ハンガリー等の歌劇場、オーケストラに客演。2011年大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス公演「ねじの回転」(プリテン)で、第66回文化庁芸術祭大賞受賞。12年小澤征爾音楽塾でブッチーニ「蝶々夫人」を、12、13年サイトウ・キネン・フェスティバル松本に招かれ小澤征爾音楽塾オーケストラとフンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」、ベートーヴェン「第9」を指揮。13年新国立歌劇場でオペラ「夜叉ヶ池」(香月修)初演。又最近では作曲・編曲活動も積極的に行っており、2011年に自作管弦楽曲「交響詩“ある物語に寄せて”」と「間奏曲」を、2012年に「交響曲」、2013年に「序曲」、2014年に「Apokalypse」、2015年に「Aufstieg zum Himmel」と「Scherzo」を、2016年に「Renaissance」を初演。2017年6月にKammersymphonie「Passion Christi」初演。2018年3月、そして9月にそれぞれ新作初演予定。現在はウィーン在住。

「春の祭典」(曲目解説)

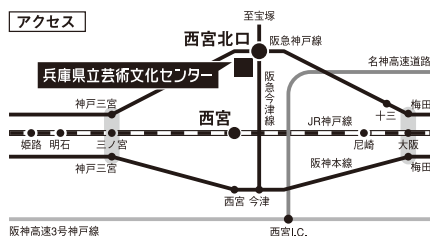
イーゴリ・ストラヴィンスキーによる、ディアギレフが率いるバレエ・リュス(ロシア・バレエ団)のためのバレエ音楽で、「火の鳥」「ペトルーシュカ」に続いて作曲され、1913年ニジンスキーの振付によりシャンゼリゼ劇場で初演された。それまでの西洋音楽でタブーとされてきたきしむような不協和音と粗野で原始的なリズムが鳴り響く中で繰り広げられる「春を迎える古代儀式で、いけにえの少女が息絶えるまで踊り続ける」という物語。音楽によって「命の躍動」を美学にまで昇華したこの作品の斬新さに、演奏中の客席では賛否両論が飛び交い、聴衆の嘲笑と当惑、怒号は大騒動になり、音楽史上最大の事件を巻き起こした。あまりにも革新的なこの作品が後続の音楽家に与えた影響は計り知れず、20世紀の音楽・芸術・文化の歴史を変え、いつまでも色あせることのない巨大な作品である。



幻想フィルハーモニー管弦楽団

幻想交響曲を演奏するために、音楽を愛し、志を同じくする京阪神のアマチュア演奏家が不思議な縁で結集し、世代を超えた約100名のメンバーによる幻想フィルハーモニー管弦楽団。尊敬する十束尚宏先生の指揮により、阪神淡路大震災から20年、第二次世界大戦の終結から70年の2015年、創立演奏会を開催しスタートしました。あれから2年、今回は音楽史上、ある意味では幻想交響曲以上に革命的であったゆえに、スクランダラスな受け止め方をされた巨大な音楽、ストラヴィンスキー「春の祭典」を演奏いたします。前回の幻想フィルメンバーを中心に、若く新しい感性の音楽家たちが加わってくれました。素晴らしい音楽トレーナーの皆様の協力もいただき、私たち全員、新たな気持ちで「知性が野生を解き放つ」革新的で華麗、刺激的なプログラムにチャレンジします。

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
阪急神戸線 西宮北口駅より南へ徒歩2分



Technics 協賛

演奏会当日は、開場後～開演までと休憩時間に特別試聴コーナーを大ホールのホワイエにご用意します。
高級オーディオブランド「Technics」のリファレンス機、R1システムによる、贅沢で優雅なサウンドを、ぜひご体験ください。

私は、革新を恐れない。
ピアニスト/アリス・紗良・オット

Rediscover Music /

Technics

伝統の思想と、先進の技術を融合。
さらなる革新を遂げた、新世代ターンテーブル。

NEW SL-1200GR
メーカー希望小売価格 148,000円(税別)

technics.jp